JSCA 九州支部　平成 23 年度　第 2 回九州支部役員会議事録

記録: 重松 正幸

日　時	2011 年 12 月 2 日(金) 15:30～17:40
場 所	都久志会館　　ｱﾄﾘｴ 102 号室 住所:福岡市中央区天神 4 丁目 8-10　TEL 092-741-3335
出席者	尾宮支部長、宮田、上瀧　両副支部長　3 名 許斐　顧問　1 名 大塚、伊藤、川崎、今林、原、佐守　各幹事　6 名 吉原、森田、内山、浅田　各委員長･部会長　4 名 高嶌、江口、三根(前)、陣川(新)、赤星、大塚、木場、花城　各地区幹事　8 名 小波津(沖縄副幹事)、糸永(大分副幹事)、河野(大分事務局)　3 名 九州支部事務局　山下、渡部、重松、新井　4 名 計　29 名

議事　(進行順)

1. 支部長挨拶　----------尾宮支部長

早いもので 23 年も師走となりました。今年は、東日本大震災がありましたが、九州(支部)としては、震災の影響は大きくは無く、むしろ建築界においては沈静化した年だったと思います。

この後報告があります JSCA「建築構造デザイン展」については、参加作品募集に苦労していました。来年度は、関西(おそらく京都)で開催される予定ですので、今のうちから助走を始めたいと思います。特に、各地区会からの応募が必要条件と考えます。

先週、長崎地区会の総会に出席し、長崎では来年 6 月「建築構造展」を開催するとの決議がなされ、支部もできるだけの支援をしたいと考えます。
他の地区会も本年同様、活発な活動をお願いします。

支部活動として、来年度は、各技術委員会単独で開催していた講習会・見学会をリレー形式の現場見学会でつなぐ試みを考えています。
若手構造設計者や学生を取り込み、現場にて各部会関連の技術を紹介する「現場建築構造展」構想です。

①杭施工現場見学会　＝ 地盤系部会（佐守部会長）
②RC 施工現場見学会　＝　コンクリート系部会（大塚部会長）
③S 施工現場見学会　＝　鉄骨系部会（金子部会長）
④PC 等施工現場見学会　＝　特殊(PC)系部会（内山部会長）
⑤耐震改修施工現場見学会　＝　耐震改修促進委員会（原委員長）
⑥木造施工現場見学会　＝　木質系部会（川崎部会長）
⑦設計現場（セミナー）　＝　設計規準系部会（伊藤部会長）
⑧確認申請の現場　＝　吉原技術委員長
　支援部隊　＝　青年部会（今林部会長）、なでしこ会（浅田部会長）
　広報・取材　＝　編集ホームページ委員会（森田委員長）
　サポート隊　＝　尾宮、上瀧、宮田
3 月の役員会までに各委員会、対象工事現場・内容の構想を検討しておいて下さい。

10 月６日の金箱会長との懇談会・懇親会は、自由活発な意見交換や会長の運営方針が聞け大変有意義な集まりとなりました。会長も同様の思いを１１月２２日の本部理事会の折お聞きしました。

2. 福岡適判複数化要望について----------尾宮支部長

各方面から、状況を良く聞かれます。遅々として進まず申し訳なく思っています。

10 月初め、福岡県議の井上たかひろ議員の秘書へ福岡県の関連 6 団体連盟の「福岡県における構造判定機関複数化の要望書」を提出し、小川県知事へ直接会って本要望書を渡す機会をお願いしていました。

12 月 1 日から始まる 12 月定例議会時に、建設委員長の蔵内勇夫と井上議員が相談するとの連絡を受けています。

12 月中には行動に移したいと考えています。

4. 各委員会・部会 最新活動及び事業予定報告

事業・会員委員会----------宮田委員長

会員数 400 名から 395 名に 5 名少なくなっている。

技術委員会----------吉原技術委員長

佐賀県が適合判定機関の複数化について公募されている。ただし、佐賀県に適合判定員が少ないない。構造センターは各県に事務所を開設したい意向。

福岡は適合判定複数化に向けて動いて行きたい。

地盤系部会 ----------佐守部会長

・９月２９日・・・WG例会（１０/７講演会に向けての下打ち合わせ）

・１０月７日・・・「建物と地盤の動的相互作用　-動的相互作用と耐震設計-」講演会
アクロス福岡にて開催。出席者は約７０名。
講師：井口　道雄　先生（東京理科大学　名誉教授）。
同日、先生を囲んで懇親会。

・１１月３０日・・「既製杭の設計施工についての勉強会」を福岡チクモビルにて開催。
出席者は約７０名。代表的なメーカー５社による工法説明。
同日、希望者による意見交換・懇親会を予定。

・今後の予定として本年度中「場所打ち杭の設計・施工に関する勉強会」を開催予定。

・今後の予定として本年度中に、建築士会大牟田支部を対象とした
「 小規模建築物における地盤講習会」として出張講習会を計画中。（依頼に応える形で）

地盤系部会としましては、今季も講習会の開催を中心に活発な活動ができたと思います。但し本年度の最初に計画していた、スキルアップのための勉強会が多少おろそかになっていた感があります。地道な規準書の読み合わせを含め、年が明けてからは定例の勉強会を持ちたいと考えています。

設計規準系部会----------伊藤部会長

・８月１０日・・・鉄鋼連盟九州地区サブネットワーク主催の「第８回設計式勉強会」開催
勉強会テーマ　「板要素の局部座屈」、「ダイヤフラムの耐力（上下階で異なるコラムサイズ）」及び「自由テーマ」
参加者は１９名

・１０月４日・・・スキルアップセミナーを開催
参加者は31名の参加者で好評でした。

・今後の予定として、下記の勉強会を開催する予定にしている。

・１月下旬　・・・鉄鋼連盟九州地区サブネットワーク主催の「第９回設計式勉強会」

・２月　　・・・設計規準系部会として「非構造部材の耐震設計について」の勉強会

・３月　　・・・鉄鋼連盟九州地区サブネットワーク主催の「第１０回設計式勉強会」

コンクリート系部会----------大塚部会長

・9月7日・・・「先組み鉄筋 圧接現場見学会」プロロジス鳥栖工事事務所

参加者：JSCA20名、　西日本圧接業協同組合9名、他ゼネコン　1名

概　要：工事の省力化のために多く用いる先組み鉄筋を圧接する際の品質管理のポイント等々を見学、先組み鉄筋は、SD390 D32を使用した柱の先組み鉄筋

・１１月２５日・・・「鉄筋ガス圧接　技術研修・交流会」

参加者：JSCA17名、　西日本圧接業協同組合9名、他ゼネコン　1名

概　要：ガス圧接の基本原理の習得、及び、施工不良がどのような条件で発生するのか等を直に体験
(1)鉄筋鋼種（D25、D32×10本程度）
(2)圧接方法：①正常圧接、②偏心、③折れ曲がり、④不純物の混入　他

＜今年度の予定＞

・１２月９日・・・「新佐賀県立病院好生館見学会」

規　模：地上9階建　　高さＧＬ+44.95m　大規模免震病院

参加者：40名程度　の予定

【設計・監理】日建・三島設計業務特別共同体

【施　　工】竹中工務店・松尾建設・中野建設・唐津土木　特定建設共同企業体

見学会：設計概要説明・現場見学・質疑応答　　説明者：㈱日建設計 白沢吉衛氏

鉄骨系部会 ----------金子部会長欠席につき事務局代理報告

段取りが遅くなりましたが、若手構造技術者を対象とした、鉄骨勉強会を来年１月より開始します。

第１回目は１月中旬とし、以降２か月毎に３～４回の予定

講師としてＪＦＥ（高炉材）と東京製鉄（高規格電炉材）

それぞれＪＩＳ規格に表現されていない機械的な性質・溶接とシャルピー値の関係・流通に関して

２回目以降は、要望を踏まえての内容とします。

場所は渡辺通りで現在施工中の友愛病院の作業所会議室（20～30人）を借ります。

時機を見まして、友愛病院（ＲＣ）の現場見学会も随時開催予定します。

→コンクリート系部会で開催する方向で調整

特殊(PC)系部会 ----------内山部会長

・６月２９日・・・現場見学会「九州学院百周年記念体育館新築工事」

設計．監理：㈱石本建築事務所、施工：松尾建設㈱

見学会参加者：26 名

・１０月２７日・・・運営委員会

木質系部会----------川崎部会長

・月１回の木造許容応力度設計勉強会を行った。

参加人数は約 20～25 人

・12 月 17 日に勉強会及びミニ忘年会を予定

・１月 29 日に新年会及び講演会を予定

・本年は、許容応力度の本２冊の勉強会を終了

（活動予定）

・来年は、公共建築規準の勉強会を開催予定。

青年部会----------今林部会長

・８月５日・・・・・鉄構工業会意見交換会および懇親会

・９月２日・・・・・第 3 回青年部会合（適判に関する意見交換）＋　暑気払い

・１０月４日・・・・JSCA 構造デザイン発表会 2011（重松･遠藤-発表/今林･安達･山田･赤司-参加）

・１１月５～６日・・１１月５～６日・・・沖縄見学会

・１２月９日・・・・第 4 回青年部会合（沖縄見学会報告）＋忘年会（地盤系部会･なでしこ会合同）

なでしこ会----------浅田部会長

2011 年度の活動テーマとして「継続と発信」を掲げ、活動してきました。

月例の会合以外に、他部会への参加や見学会を開催することができました。

来年の 3 月までは主だった活動は休止し、来年度へ向けての充電期間とします。

その間に、今年の活動を踏まえて、来年度の活動について意見集約と検討を行う予定です。

支部の皆様へは、社内の“なでしこ”の本会への参加推進をお願いするとともに、

新たな“なでしこ”の発掘にもご協力をお願いします。

・　８月６日・・・暑気払い(3 名参加)

・　９月２日・・・青年部会合参加(4 名参加)

・　１０月６日・・・金箱会長との懇談会(4 名参加)

・　１０月２９日・・・福岡市動植物園「チンパンジー舎」見学会(8 名参加)

・　１１月２４日・・・活動発表会(4 名参加)

・　１１月２５日・・・鉄筋ガス圧接技術研修・交流会(4 名参加)

（活動予定）

・　１２月９日・・・青年部・地盤系部会との合同忘年会

編集ホームページ委員会----------森田委員長

・　編集 HP 委員会の今後の予定

・　支部機関紙「ＪＳＣＡ九州 20 号」

・　メール版およびダイジェスト版（紙面）

・　平成 24 年 1 月発刊予定

耐震改修促進委員会----------原委員長

・8/18・・・中村学園大学 CFT ブレースの補強見学会

・12/15・・・委員会開催予定

体育館の耐震改修における鉄骨ディテールについて

5.各地区会 最新活動及び事業予定報告

北九州 ----------高嶌幹事

・ 8 月 30 日・・・地区会　ＪＳＣＡ九州支部鹿児島委員会の報告及び産学官の講演会テーマ設定

・ 11 月 11 日・・・「産・学・官」が連携した建築構造系講演会開催

北九州市の耐震対策、ＣＦＴ構造のあれこれ

東北地方太平洋沖地震の概要と今後の大地震に向けた備え

（活動予定）

・ 11 月 18～20 日・・・北九州市トータルリビングショー

・ 1 月 13 日・・・北九州建築 6 団体合同新年賀詞交歓会

・ 1 月・・・新年会兼ね意見交換会予定

佐　賀 ----------江口幹事

・ ６月３日・・・地区会総会、電炉鋼材勉強会（講師：東京製鐵）

・ ７月８日・・・建築技術者構造研修会（講師：東京ソイルリサーチ内藤氏、地区会員）

・ ７月３０日・・鉄構工業会との交流会（溶接体験、懇親会）

（活動予定）

・ １２月９日・・佐賀県立病院現場見学会（基礎免震構造）、地区会忘年会

・ ２４年４月・・伝統建築（酒蔵・米蔵）移築現場見学会

・ 診断については：今年度６１棟（予定）

・ 適判については：23 年度-82 件（10.2 件/月）、22 年度-128 件（10.7 件/月）

21 年度-88 件（7.3 件/月）、20 年度-193 件（16.0 件/月）

長　崎 ----------三根・陣川幹事

・ ８月３１日　　理事会

・ ９月９，１０日　　例会，見学会（復元平戸オランダ商館）

・ １１月１０日　　理事会

・ １１月２５日　　地区会総会

・ 耐震診断の状況　　４月～１２月　（１８３件）

・ 適判受付状況　　４月～１２月　（８５件）

・ 会員　１名増

（活動予定）

来期は、平成２４年６月の構造展開催に向けて活動予定。

（陣川新幹事挨拶）

次世代の活動を後押ししていきたい。

大　分 ----------糸永副幹事・河野事務局

・11 月・・・東日本大震災の報告会を開催

（活動予定）

・１月・・・大分地区新年会開催予定

・２月・・・見学会予定

・３月・・・技術セミナー実施予定

・適判件数　　１月～３月　－－－３０件程度

　　４月以降　－－－１３０件程度

・耐震判定　　処理件数　　４０件程度

　　未処理件数　　４３件程度

熊　本 ----------赤星幹事

・８月・・・役員引き継ぎを行いました。

・１０月５日・・・清水小学校・耐震補強工事（アウトフレーム工法）見学会を開催した。

・１２月１７日・・・定期セミナー（勉強会）を開催予定。

・会員が転勤等で２名減少

・耐震診断については、特に大きな動きなし。

・適判については、ＪＳＣＡ会員が１０人程、判定員（半常勤）として月に

２０～３０件くらいの判定審査を実施。

宮　崎 ----------大塚幹事

講習会の件

・8 月 23 日・・・第１回講習会を開催

（内容）一部「キャップ式いちいち基礎工法」の設計の考え方

（JFE シビル㈱　野呂 彰氏）

二部 「行政からの伝達と RC 造保有水平耐力計算について」

（宮崎市建築指導係　土田 俊一氏）

今後

・12 月 14 日・・・忘年会の予定

液状化判定について説明を 30 分～1 時間程度行い、その後忘年会

・1 月・・・第２回講習会を開催予定

・3 月・・・第３回講習会を開催予定

会員の件

・JSCA に未加入の構造設計一級修了者には入会を勧めていますが、なかなか行動に移していただけません。機会があれば直接会って入会を勧めたいと思います。

耐震診断の件

・県住宅センターで今年度は５回の予定でしたが、11 月に追加の判定会を行い年間 6 回の開催となりました。

・１回について新規が 25～30 件程度申込みがあり、判定委員の先生方は大変なようです。

鹿児島　----------木場幹事

・９月１５日・・・９月例会は、徳廣先生の追悼例会とした。
　　塩屋先生に徳廣先生の偉業を紹介して頂いた。
・１０月２８～３０日・・「住まいと建築展」で、耐震診断の相談会を行った。
・１１月１９日・・・１１月―例会及び忘年会
金箱会長を招聘して講話をして頂いた。
・２月・・・他団体との交流会予定
・２月・・・陶芸体験予定
・３月・・・地区総会予定
　　会計報告及び幹事改選

沖　縄　----------花城幹事・小波津副幹事

・8 月 10 日・・・JSCA 金箱会長との地区会懇親会を開催。
　　参加者 20 人程度。沖縄地区会内で構造デザイン発表会を予定
・9 月 28 日・・・太物鉄筋（D32）のガス圧接現場見学会を開催。
　　参加者 30 人程度。風速 5m/s の体感。強風下での圧接デモ
・10 月 28 日・・・地区会主催で「４者関係機関による情報交流会」の開催
　　来場者 120 人程度
　　パネルディスカッション（JSCA 沖縄、適判機関×２、確認審査機関）
・11 月 24 日・・・東京スカイツリーの構造設計者による講演会」を開催
　　来場者 410 人（高校生 200 人、建築関係＆一般 210 人）
　　収益金は沖縄県の地震の防災対策事業に寄付予定
・沖縄県と 4 者関係団体で応急危険度判定士派遣に関する協定を 12 月 15 日に締結する予定
・診断については、あまり動いていない。
　建防協が主体の元、JSCA 地区会が連携してピロティー建物の簡易診断手法策定に
　向けて現在、診断業務を進行中。年度内策定予定
・適判については、20 から 30 件／月程度で推移。
・沖縄の判定技術向上のために、耐震判定委員会に九州（福岡）から一名参加して欲しい。
　　→耐震改修促進委員会と調整する。

6. その他

(1). 次年度第１回役員会予定----------花城幹事

7 月 6 日の週までに行うことが望ましい。（航空運賃の関係上）
3 月までに 7 月か 10 月か方向性を決める。

(2). その他

次回は、拡大役員会、3 月 16 日（金）予定
来年度総会は、5 月 11 日（金）金箱会長公演予定

以上、お疲れ様でした。